



西会津小だより

3月号

No.12

【教育目標】

めあてをもって、やりぬく
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和3年 3月23(水)

文責：校長 博多弘泰

御礼と感謝

今年は、雪が多く寒さを感じる冬でしたが、校舎周辺のコブシ(花言葉:信頼・友情)のつぼみも日ごとに膨らみ始め、春の訪れを感じます。さて、コロナ禍による、先行きの見えない不安の中でスタートした令和2年度の学校教育活動ですが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

4月下旬から5月中旬にかけて15日間の臨時休校期間がありました。行事等の一部中止を除いて、ほぼ通常の形で学校を運営することができました。また、3月5日(金)には、2回目の授業参観と初めての学年・学級懇談会を行うことができ、子どもたちの成長をお伝えすることができました。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の収束は見えませんが、感染症対策をしっかりと講じ、安全・安心な学校にしていきたいと思います。



心身ともにたくましく、未来を生き抜く児童

平成24年4月1日に新郷・奥川・野沢・尾野本・群岡の5つの小学校が統合し、西会津小学校が開校しました。その時から今年度までの教育目標は、「めあてをもって、やりぬく」でしたが、令和3年度からは「**心身ともにたくましく、未来を生き抜く児童**」に変更します。学習指導要領が新しくなり、社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育むため、児童の実態を踏まえて目標を設定し、目指す児童像を描くことを変更の視点としました。具体的な観点につきましては、「知」「徳」「体」に、本校の特色の一つである「地」(地域とともに)を加え、4つの観点で教育目標に迫っていきたくと考えています。また、各観点の実践事項につきましても、学校評価や実態等を十分に考慮し、変更を加えました。詳細は、次年度お配りする運営ビジョンをご覧ください。

鼓笛移杖式・感謝の会

2月26日(金)に、鼓笛移杖式と6年生への感謝の会が行われました。鼓笛移杖式では、旧鼓笛隊による演奏→指揮杖の引継ぎ→楽器の引継ぎ→新鼓笛隊による演奏の流れで行われ、西小鼓笛隊の伝統が引き継がれました。

6年生への感謝の会では、5年生が実行委員会を組織し、3密を避けるために、昨年までと形態を変えて発表学年が入れ替わる形態をとりました。会の様子は、各教室にZoomを使って配信し、発表学年以外の学年は自分たちの教室で視聴しました。



卒業証書番号

卒業証書には、一人一人に与えられた証書番号があります。誰一人として同じ番号はありません。今年の卒業証書番号は、341番から始まりました。西会津小学校が開校し、341番目の卒業生ということです。卒業証書番号には、西会津小学校を卒業した先輩たちが築いてきた歴史の重さがつまっています。その重さを感じ、中学校生活を頑張りたいと思います。



皆勤賞

6年間の皆勤賞の授与を、修了式の後に行いました。6年生は、入学してから卒業するまで、6年間で授業日数が1203日あり、一度も休むことなく登校できた児童は2名でした。これまでの間、「休んでしまおうかな」と思ったことが何度かあったかもしれませんが、そんな気持ちに打ち勝ち、登校し続けたことは、大きな自信になったと思います。



